

卓球のルール＋審判のやり方

空知中体連卓球専門部

卓球の大会では、全員が審判をすることになります。「**審判ができること＝ルールを理解していること**」にもなるので、全員が正確にルールを理解しましょう。

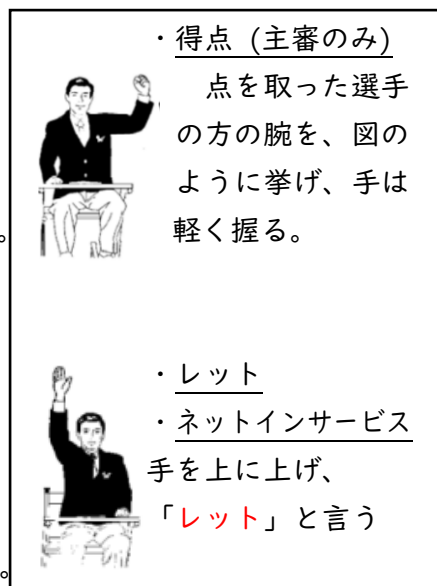
◎以下の要領は「中体連での審判」を基に作っています。ほかの大会では多少違う部分があります。

① いつ審判をするか

- 団体戦…互いのチームから審判を出し合う。ダブルスは主審、副審の2人。
- 個人戦…敗者審判が基本。(初戦の審判は、シード選手が割り当たることが多い。)勝者は対戦表を本部に持っていく→新しい対戦表を受け取る→敗者に渡す
敗者は試合をしたコートに残る→勝者から対戦表を受け取る→審判をする

② 審判の主な役割

- 主審…得点の判断＋ジェスチャー (右の図)
 - ・ダブルスのサーブのイン・アウト判定
 - ・得点のコール
 - ・ゲームの開始時「ラブオール」(＝0対0)
 - ・サーバー(サーブを打つ人)の点を先に言う。
「5対7」なら「ファイブ、セブン」
 - ・同じ点数、例えば「3対3」の時は、
「スリー、オール」
- 副審…得点の判断の補助＋ジェスチャー (右の図)
 - ・得点板の操作
 - ・両者の得点の合計が6の倍数になったら、
得点板を横に向けてベンチコーチに見せる。
(タオルを使える時、と覚えておこう)



- ・得点 (主審のみ)
点を取った選手
の方の腕を、図の
ように挙げ、手は
軽く握る。
- ・レット
- ・ネットインサービス
手を上に上げ、
「レット」と言う

※シングルスでは審判を一人でやることが多い。その時は、両方の仕事を一人でやる。

③ 時間を計るタイミング 中体連では、各コートにタイマーが置いてあります。

- 試合前の練習…中体連では **1分**
- 各ゲームが始まる時…**10分**測る。両者の得点の合計が18になる前に10分が経過した時点で「促進ルール」に入るため。
- ゲーム間のアドバイスタイム…**1分**。1分経ったら主審は「**タイム**」と言い、選手はコートに戻る。選手がコートに戻らなかったら、主審は選手に言いに行く。

④ 試合の流れ+試合中に起こるあれこれ

(1) コール（呼び出し）→試合前の練習

●選手もしくは審判が来ない→本部に連絡し、呼び直してもらう。

●選手、審判が全員揃ったら、

・ボールの選択

違うボールを選んだらジャンケンし、勝った方が選んだボールを使う。

・サーブ、エンド決めのジャンケン

勝った方が「サーブ or レシーブ」、もしくは、「どちらのエンドで始めるか」を選べる。勝った方が「サーブ or レシーブ」を選んだら、負けた方は「エンド」を選ぶ権利がある。逆もまたしかり。

・練習（1分間）

エンドをコートという人がいますが、正確にはエンド。コートチェンジではなくチェンジエンド。

(2) 試合

●1ゲーム11点先取。5ゲームズマッチ（3ゲーム先取で勝利）。

●サービスは2本交代。デュース（10-10）になったら1本交代。

●デュース（10-10）になったら、2点差が付くまでやる。

●レット

・競技エリアに他の試合のボールが飛んでくるなどして、**競技の妨げになると判断した瞬間に、審判はすぐ宣告**する。

・選手がレットを要求→相手の選手も納得することで、レットを宣告されることもあるが、**最終判断は審判**。審判が宣告するまではプレーをやめないこと。ネットインサービスも同様。

・ボールが飛んでくるなどしても、**得点には影響がないと審判が判断すれば、レットにはしない**。選手は判定に対し確認を求めることはできるが、**最終判断は審判が行う**。

●エッジ（台の角）かサイド（台の横）か

・エッジならイン、サイドならアウトの判定のため、微妙な判定が求められる。

・基本的に、台の内側から台をかすめたらエッジと判断してよい。

・台の外側からのボールは、上に跳ね上がったならエッジ、そのまま下に落ちていったらサイドとすることが多い。

・互いの選手が納得した上でエッジ・サイド判定もあるが、**最終判断は審判**。

※たとえ失点になっても「エッジでした」「サイドでした」と素直に言えたら素敵！フェアプレーを目指しましょう！

●促進ルール

・1ゲーム内で10分が経過した場合に適用。ただし、両者の得点の合計が18以上のとき（9-9か10-8以降）は、適用しない。

・10分が経過した瞬間に適用。ラリー中であれば審判は「レット」をかけ、本部に連絡。ストロークカウンター（ラリーを数える人）がつき、試合再開。

・サービスが1本交代に、レシーバーが13回返せたら、レシーバーの得点に。

・促進ルールが適用された場合、それ以降のすべてのゲームで促進ルールが適用される。